

大山駅駅前広場及び鉄道附属街路第6号に係るデザイン検討について

1 目的

大山駅の駅前広場構想（平成29年3月策定）の実現に向けた取組を推進していくため、令和3年12月に都市計画事業認可を受けた大山駅駅前広場整備事業（板橋区画街路第9号線）（以下「駅前広場」という。）及び鉄道附属街路第6号線（都市高速鉄道東武鉄道東上本線附属街路）（以下「鉄付6号」という。）の一体的な空間デザインの検討を行う。

検討にあたっては、東武東上線大山駅付近の連続立体交差事業（以下「連立事業」という。）をはじめとする大山駅周辺のまちづくり関連事業と整合を図りながら、大山駅周辺のにぎわい拠点となる駅まち空間の実現をめざす。

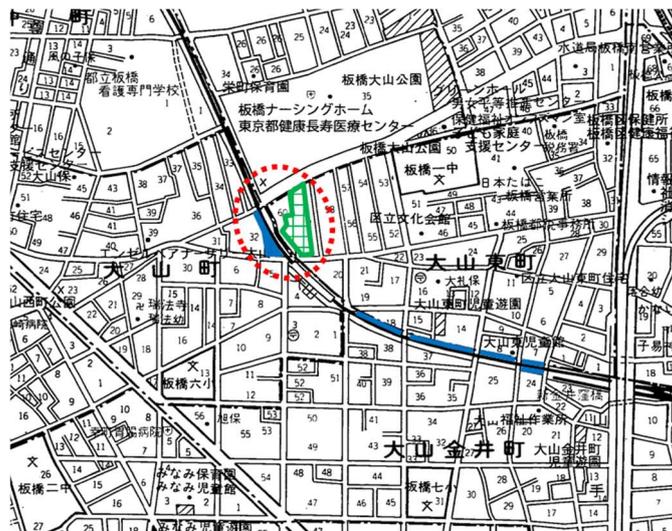
2 検討の方向性

駅前広場整備事業における配置計画（案）をベースとしつつ、鉄付6号との一体的な空間活用を検討し、オープンハウスやワークショップ等により住民合意形成を図りながらデザイン案を作成する。

また、連立事業によって高架化予定の大山駅と駅前広場、鉄付6号について、駅まち一体の必要性を整理していく。

3 検討範囲

駅前広場及び鉄付6号のデザイン検討にあたっては、大山駅周辺のまちづくり関連事業の進捗状況も勘案し進めていく。



駅前広場



鉄道附属街路（側道）



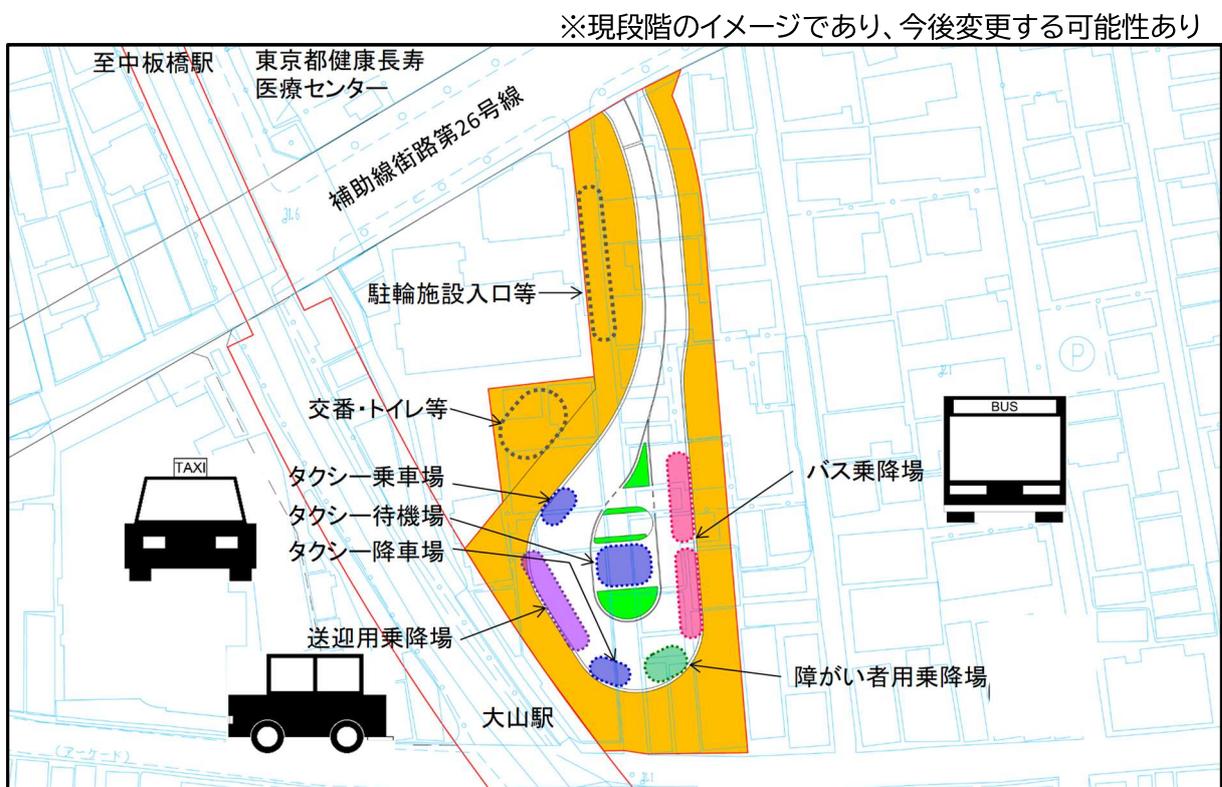
検討範囲（駅前広場及び鉄道附属街路第6号線）

4 庁内検討について

検討にあたっては、まちづくり、防災、ユニバーサルデザイン、土木管理、魅力発信（ブランド）、商店街振興等の視点から庁内検討会を設置するとともに、学識経験者からの助言や知見もいただく予定である。

5 今後のスケジュール（予定）

- 令和7年8月 都市建設委員会報告
- 令和7年9月 町会長会議事前説明
- 令和7年9月 オープンハウス及びワークショップ（3回程度）
- ～令和8年1月頃
- 令和8年1月 庁議報告
- 令和8年2月 都市建設委員会報告



駅前広場整備事業における配置計画（案）